



日本政府が推進する「子供の未来応援基金」 全国のイトーヨーカドー・デニーズの店舗で3月1日(日)から開始 ～全店舗の会計レジの募金箱で展開～

株式会社イトーヨーカ堂と株式会社セブン&アイ・フードシステムズは、2020年3月1日(日)から3ヶ月間、いわゆる貧困の連鎖の解消を目指す「子供の未来応援国民運動」(推進事務局を内閣府、文部科学省、厚生労働省及び独立行政法人福祉医療機構で構成)と連携し、国民運動の一環として創設された「子供の未来応援基金」への募金を全国のイトーヨーカドーとデニーズ、ファミリー(一部店舗)にて開始いたします。

また、本社では従業員向けに「子供の未来応援国民運動」の一環として、読み終えた本等を、提携会社(株)バリューブックス宛てに送ると、買取金額が基金に全額寄付される「こどものみらい古本募金」活動を5月15日(金)まで行います。本取り組みにより集まった募金は、同基金を通じて、草の根で子供たちの支援を行うNPO等を応援し、社会全体で子供の貧困対策を進める環境を整備します。

全国のイトーヨーカドー、ザ・プライスの全店舗の会計レジ(セルフレジ等、一部設置不可のレジを除く)と、セブン&アイ・フードシステムズが運営する、全国のデニーズ、ファミリー(一部店舗)のレジにて、2016年3月から募金箱を通年設置し、3か月ごとに様々な社会的課題の解決の一助になるテーマを決め、年間を通じてお客様、従業員へ募金を呼びかける活動を行っております。

【展開例】※ディック・ブルーナさんの描く子どものイラストのデザインのPOPやポスターを展開



【イトーヨーカドーのレジの募金箱】

© Mercis bv

【デニーズのレジの募金箱】

【イトーヨーカドーでは店内ポスターを展開】

イトーヨーカ堂とセブン&アイ・フードシステムズは、一つの社会的課題に偏らず、様々な分野への課題に向き合っており、今後もお客様・従業員と共に事業活動を通じた社会的課題を解決する活動を行ってまいります。

以上